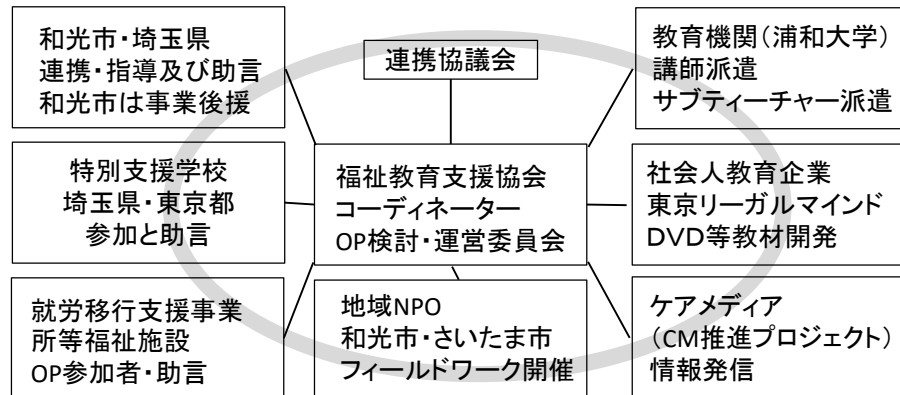


一般財団法人福祉教育支援協会(埼玉県)における学校から社会への移行期の生涯学習に関する取組

一般財団法人福祉教育支援協会

- ・平成27年、コミュニケーションを重視したプログラムで支援する就労移行支援事業所シャローム所沢(埼玉県所沢市)開設とともに埼玉県所沢市に設立、平成28年に就労移行支援事業所シャローム和光(同和光市)、平成29年に計画相談事業所シャローム新倉(同)を設立
- ・就労支援に関して企業側の啓蒙活動の活発化に向けて、障がい者雇用推進センター(東京都中央区)を設立、障がい者マッチングの活性化に向けて職業紹介事業所シャローム日本橋(同)を設立
- ・平成28年夏から啓蒙媒体及び当事者の発表の場として季刊「ケアメディア」を発行、全国の約50の事業所の広報媒体として機能している(2019年新年号は30000部発行)
- ・就労支援の実践から「学び」の必要な若者等への対応を研究し、法定外シャローム大学(埼玉県和光市)を開設し、学びへのニーズに応える取組を実践している

実施体制



「オープンキャンパス」学習プログラム構成と成果及び今後の展開

基礎教育ステージ

第1回 学ぶって何だろう 担当・丸里秀一郎・浦和大学教授

第2回 メディアを知る、コミュニケーションを学ぶ 担当・引地達也及び歌手サム等

基本構成 10時～14時半 1授業50分 1オリエンテーションとゲーム 2講義 昼休憩 3講義 ワーク 4感想と振り返り、修了者には修了書を授与

関わりあいステージ

第3回 見沼たんぼでおにぎり とゲームワーク NPO法人見沼じゃぶじゃぶラボ

第4回(2日間) 和光市魅力発見 担当・和光市民ボランティアグループ等

実践教育ステージ

第5回 モチベーションアップで自分の仕事を発見する 担当・大槻一敬・法定外シャローム大学准教授

第6回 ビジネスマナーを知ろう 担当・林真理子・ビジネスマナー講座



和光市のフィールドワークで各グループで制作した壁新聞。一例がこちら

成果

- ・動画コンテンツ化・すべての模様を編集して公開へ
- ・ケアメディア及びソーシャルメディアで発信→啓蒙活動
- ・地域との連携強化
- ・授業の効果を検討し他地域展開へ
- ・コーディネーター視察による学習の最適化に向けた具体化

<今後の展開>

- ・学びの必要な障がい者との連携
- ・動画コンテンツ対応
- ・医療ケアが必要な方々への訪問学習



写真左・第2回講義では声の音というテーマでピアノコーラスグループも登場し発声についても学習
写真中央・見沼たんぼで「わら投げ」大会も実施
写真右・和光市のフィールドワークでグルメ探検に出発、初対面の参加者も和気あいあいと楽しんだようです

延べ参加人数200人、市民と障がい者の「学びあい」に市民評価→強化・拡充へ